

タテ線譜による若年層のピアノ演奏

—ピアノ演奏への心理的距離の短縮—

齊藤康之（木更津工業高等専門学校 情報工学科）

司会：小沢真弓（NPO いちかわシャンテ代表） 書記：秋谷万里子（和幸楽器和幸音楽院 文責）

発表概要

1 情報工学の世界、グラフ理論の視点から見たタテ線譜

- ① 五線譜の特徴は以下の通り。
- ・上下方向が音高、右方向が時間の流れ
相応の訓練と慣れがあれば、読譜しながら演奏できるが、初心者は慣れていないので、演奏は心理的距離が遠い。
- ② タテ線譜の特徴は以下の通り。
- ・左右方向が音高、下方向が時間の流れ
 - ・音符は円形の「節」で表し、「節」の位置が鍵盤に対応。
 - ・「節」と「節」を結ぶ「枝」によって、次の音高が視覚的に分かり易い。
 - ・「節」内に指番号が記され、順に弾くだけで、正しい運指で演奏できる。
直感的で容易に演奏ができる。

2 タテ線譜作成への取り組み

- ・現在エクセルで作成しているが、時間と労力を要する。
- ・電子楽譜からタテ線譜を自動作成する取り組みを行っている。

3 若年層のピアノ演奏へのタテ線譜利用の実践

ピアノ演奏への心理的距離の短縮と言う観点からタテ線譜利用を実践した。

- ① 「魔法のピアノ講座」（木更津工専 2015.5.18）
- ・木更津工業高等専門学校生 13名
 - ・タテ線譜を用いた「楽譜が読めない、ピアノを弾けない超初心者対象」と謳った講座
 - ・電子ピアノでの「3段階練習」
ステップ1 机上での運指確認
ステップ2 電源を切った状態での鍵盤確認
ステップ3 演奏
 - ・使用曲は「メリーさんの羊」「エリーゼのために」
 - ・演奏に集中し、講座終了時には両手演奏に成功
 - ・「もっとチャレンジしたい」「弾けて楽しかった」との感想を得た。
- ② 木更津工専オープンキャンパスにおける自動伴奏システム「ユリディス」のデモ
- ・タテ線譜を用いて初見で中学生が自動伴奏システムを体験

- ・昨年度五線譜を用いたデモでは演奏を敬遠
 - ・今年度タテ線譜を用いたデモでは全ての中学生が「チューリップ」を最後まで演奏できた。
- ③ 「国際ワークショップ IWEEE2015」における自動伴奏システム「ユリディス」のデモ
- ・タテ線譜を用いて初見で外国人が自動伴奏システムを体験
 - ・多くの方に体験して貰え、初見演奏として上出来であった。
- *ユリディス；演奏者の演奏を推定して伴奏を演奏するシステム

4 実践結果

- ① タテ線譜は若年層に受け入れられるのか？
- ・数々の実験で受け入れられることが実証された。
- ② 若年層の反応は？
- ・五線譜に比べ、タテ線譜ではピアノとの心理的距離がぐっと縮まった。
- ③ ピアノ初心者に有効か？
- ・初見である程度は弾ける
 - ・ちょっと練習すれば、より円滑に演奏できることが期待される。

5 今後の課題

- ・様々な教育現場で活用して、より被験者数を増やす。
- ・客観的評価（脳の活動の測定、バイタルサインの観察）
- ・タテ線譜の改良
- ・リハビリテーションへの活用と改善度の数値的調査

所感

第11回全国大会要項19頁で、斎藤氏が「若年層のピアノ練習の導入教育にもタテ線譜が十分効果的である事が示された。」と纏められていることと、同日行われたラウンドテーブルでの垣浪氏（東京学芸大学附属大泉小学校）による「タテ線譜による鍵盤ハーモニカ導入の試み（小学生対象）」の報告から、この一年で、タテ線譜メソッドを使用した鍵盤楽器導入の対象となる年代層が一気に広がったように思われる。（小学生、中学生、高校生、幼児教育関連大学の学生、シニア）
また、楽譜作成の進化、自動伴奏システムの導入を得て、タテ線譜の未来が大きく広がって行く事を実感した。